



第3回
湯浅年子賞
Toshiko Yuasa Prize

第1回
黒田チカ賞
Chika Kuroda Prize



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

お茶の水女子大学賞
授賞式

湯浅年子賞 金賞

御手洗 容子氏 *Yoko Mitarai*

国立研究開発法人物質・材料研究機構
先進高温材料ユニット構造機能融合材料グループ
グループリーダー

御手洗氏は、高温構造材料に関する基礎研究で多くの顕著な研究業績をあげている。特に、イリジウムの超高温域において優れた高温強度を示す高融点超合金の開発、高温で高強度かつ耐酸化特性に優れた白金族金属とのチタン合金の開発等において多くの特許を取得する等、同氏の研究業績は国内外で高く評価されている。また、御手洗氏は金属学会男女共同参画委員会幹事ならびに委員長を歴任し、加えて科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」を男女共同参画チーム長として推進するなど、17の男女共同参画関連機関の長として戦略的イノベーション創造プログラムを担当している。さらに同氏は研究チーム長として研究推進のためのリーダーシップ能力を発揮し、自らの研究の大成と共に、後進の女性研究者育成に努めている点も高く評価される。

黒田チカ賞

五十嵐 悠紀氏 *Yuki Igarashi*

明治大学
総合数理学部
先端メディアサイエンス学科 専任講師

五十嵐氏の主たる研究分野はコンピュータグラフィクスであり、分野的には形状モデリングおよび布素材の特性についての物理シミュレーションにあたる。ユーザインタフェースの学術領域で今まであまり着目されていなかった領域において新たな概念の下にクラフト作成用のユーザインタフェースの研究を行うなど、同氏の研究は国際会議ならびに国際的学術雑誌における発表で世界的に注目されている。自動車など工業製品のスタイリングデザインへの応用の可能性もあり、今後の国際的な活躍が大いに期待される若手女性研究者である。また、育児と学術研究活動の両立に関しても独創的な発想で対応し、所属学会においては男女共同参画活動を積極的に行なうなど、当該分野における後進女子学生らのロールモデルとしても活躍している。

黒田チカ賞

栢沼 愛氏 *Megumi Kayauma*

筑波大学
計算科学研究センター 助教

栢沼氏の主たる研究分野は計算化学であり、大学院生時代には高精度分子軌道法による量子化学計算の研究を行った。学位取得後、ストラスブール大学でのポストドク研究員として金属錯体を用いた光触媒系の反応機構の解明ならびに光異性化反応の解明において顕著な研究業績を上げた。また、筑波大学・助教に着任後には、生命物理学研究室との共同で、酵素の反応機構の解明に関する研究を行った。当該共同研究においては、栢沼氏の金属錯体の光触媒の反応機構の解明手法が大きな貢献を果たしている。さらに、最近では分子進化グループとの連携で真核生物のタンパク質合成に関わる研究も始めている。量子化学計算の研究範囲を物質科学から生命科学にまで応用するなど、今後の国際的な活躍が大いに期待される若手女性研究者である。

[日時] 2016

1.20 水 12:30-

[場所]

お茶の水女子大学
カンファレンスルーム
[大学本館 1階 135室]

http://www.ocha.ac.jp/danjo/yuasa_toshiko_prize.html

[お問い合わせ先] お茶の水女子大学 企画戦略課 男女共同参画推進担当

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1

E-mail: danjo@cc.ocha.ac.jp

